

サッカーのフォーメーションを考えるには何が必要であるか？

What is important thing to think about football formation?

1K03B053

指導教員

主査 寒川恒夫先生

金田 隼輔

副査 杉山千鶴先生

序章

メジャースポーツの中でもサッカーは、ことフォーメーションにおいてオリジナリティーを出せるスポーツであり、それがサッカー経験者、未経験者を問わず楽しめる要素である。そのオリジナリティーを誰でも発揮できるツールとして、サッカーゲームが爆発的に売れているなど、人気の理由がそこにある。

最近では、著者杉山茂樹氏による「4-2-3-1」という本がベストセラーになるなど、日本においても、注目が集まっている。このように、フォーメーションは、サッカーを深く追求するために重要なポイントである。筆者も、その人気のスポーツであるサッカーに、幼少時代から今まで16年間携わってきた。そして、将来的に指導者という形でサッカーに関わっていくことを考えた末に、今回この題材を取り上げた。筆者が、これまで所属した5チームの中でさえ、フォーメーションが8つも変化していった。フォーメーションは、指揮官の好みであったり、全選手の特徴にあわせて決められたりという部分が多く占める。しかし、時代の流れや大会によってフォーメーションは変化、進化し、その時代や大会の色がでてきたと言っても過言ではない。そんな中で、これから指導者という道を視野にしている筆者としては、勝つ事、選手の可能性を引き出す事、選手にサッカーの奥の深さ、楽しさを伝えるためには、先見力をもって戦術を考えていくことが大事である。そこで、サッカーの歴史や過去のフォーメーションのデーターを調べ、歩んできた轍を学び、移り変わりを分析した。そして、そこから日本人に合ったフォーメーションや、指導

者が戦術やフォーメーションを考えるにあたって必要なことは何か、ということについての考察を交えながらまとめている。

第1章 目的

世界でサッカーというスポーツが全世界共通のものとなってきた。その中で、日本は世界のトップとはチームとして差があり、まだもがいている状態である。その現状を打破するためにはどうしたら良いかについて。

1. サッカーの歴史を様々な視点から調べ、サッカーというスポーツのルーツを学ぶ。
2. 過去における、フォーメーションの種類と、その変遷を分析する。
3. ボールの進化を調べ、それがもたらすフォーメーションへの影響について分析する。
4. その上で、これからのフォーメーションがどのように変化していくのか、そして、日本人にあったフォーメーションはどのようなものか。

という観点のもと、議論をすすめていっている。

第2章 方法

様々な文献を参考の元に調べた。

第3章「サッカーの歴史」

サッカーの歴史についてまとめた。まずは世界のサッカーを調べ、発祥のルーツについてまとめている。次に、日本のサッカーを調べ、日本人のサッカーの起源とも言われている蹴鞠についてもまとめている。さらに、サッカーの発祥地であるイギリスの歴史について、英語で書かれた本を訳すなど、

様々な視点から歴史についてまとめている。

第4章「フォーメーションの変遷」

時代によって変化してきたフォーメーションについて、その種類と選手の配置、それがもたらす目的や戦術を年代ごとにまとめている。さらに、四年に一度行われるワールドカップという世界大会でのフォーメーションの変化についてもまとめられている。

第5章「ボールの変化」

ボールの種類やその進化についてまとめている。

それが、サッカーにもたらす影響についても触れている。

第6章 考察

第3章から第5章のことを踏まえた上で、フォーメーションなどについて分析し、これからフォーメーションがどう変化していくのか、日本人に合ったフォーメーションとは何か、指導者がフォーメーションを考えるにあたり何が必要か、についてまとめている。そして、そこから生まれた本研究の課題についてもまとめている。